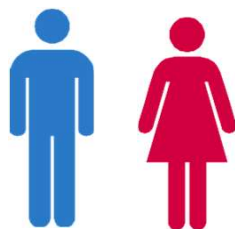




令和6年度仙台市観光実態調査業務 結果報告書



調査設計



調査手法 : オンライン定量調査

調査対象 : マクロミルモニタ 男女20-79歳

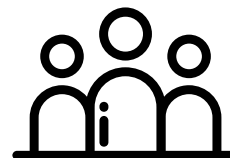
調査会社 : 株式会社マクロミル

調査時期 : 2025年1月15日～1月20日

調査地域 : 北海道 / 東北+新潟※仙台市除く /
北関東 / 一都三県 / 中部 / 関西 /
中国 / 九州

※ 2019年の仙台流入宿泊者数の情報を参考に、
一部地域は対象地域を流入数の多い県に限定。

- ・中部 : 長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県
- ・関西 : 京都府・大阪府・兵庫県
- ・中国 : 岡山県・広島県
- ・九州 : 福岡県・長崎・熊本



対象者条件/サンプルサイズ（スクリーニング調査 ※以下「SCRJ」）

人口を調査地域×性年代構成比にあわせて
20,000ssで分析

対象者条件/サンプルサイズ（本調査）

2024年1月-12月に仙台に訪問した人を
調査地域×性年代構成比率にあわせて2,102ssで分析

調査票URL （パスワード : bjL!u+;p)

<SCR>

<https://www.macromill.com/airs/exec/smartPvRLAction.do?rid=1259898&k=96d82995cd>

<本調査>

<https://www.macromill.com/airs/exec/smartPvRLAction.do?rid=1259983&k=e55ca90bdb>

調査フロー・割付条件

SCR

調査対象：対象エリア*の男女20-79歳
サンプルサイズ：20,000サンプル

- 割付設定：居住地×性別×年代で区分し、各セル「令和2年度の国勢調査の人口構成比」に基づいて回収

	男性20-29歳	男性30-39歳	男性40-49歳	男性50-59歳	男性60-79歳	女性20-29歳	女性30-39歳	女性40-49歳	女性50-59歳	女性60-79歳	計
北海道	59	70	93	86	174	57	70	96	93	207	1,005
宮城県	13	17	22	19	43	12	16	21	19	45	227
東北+新潟	88	112	148	142	305	80	107	142	143	334	1,601
北関東	83	98	130	114	228	72	89	120	110	241	1,285
一都三県	534	596	751	673	1,025	520	570	720	637	1,112	7,138
中部	216	249	325	291	522	198	231	309	283	568	3,192
関西	215	230	308	281	496	220	237	321	296	572	3,176
中国	57	65	85	72	147	55	63	84	75	164	867
九州	95	113	139	122	254	97	117	145	134	293	1,509
計	1,360	1,550	2,001	1,800	3,194	1,311	1,500	1,958	1,790	3,536	20,000

SCR調査の回答結果から、指定条件に合致した人（2024年の仙台訪問者）を抽出

本調査

調査対象：条件に合致する対象エリア*の男女20-79歳
サンプルサイズ：2,102サンプル

- 割付設定：居住地×性別×年代で区分し、各セルはエリアごとに「令和2年度の国勢調査の人口構成比×指定条件の出現率」に基づいて回収

	男性20-29歳	男性30-39歳	男性40-49歳	男性50-59歳	男性60-79歳	女性20-29歳	女性30-39歳	女性40-49歳	女性50-59歳	女性60-79歳	計
北海道	23	19	15	22	42	18	18	16	13	24	210
宮城県	14	17	20	20	36	13	15	19	16	42	212
東北+新潟	24	32	40	36	66	36	36	36	39	72	417
北関東	20	17	18	24	37	18	13	16	16	32	211
一都三県	48	46	47	41	57	40	27	31	25	54	416
中部	22	23	22	20	39	20	12	12	10	30	210
関西	32	20	19	16	40	13	13	11	13	33	210
中国	11	19	9	8	22	7	5	7	8	13	109
九州	8	15	8	11	20	8	8	4	6	19	107
計	202	208	198	198	359	173	147	152	146	319	2,102

ウェイトバック集計

- ✓ 本調査の各セルの回収数の合計値は、「2024年の仙台訪問経験者全体」の母集団構成比を表現していないため、SCRの回答結果から目標構成比(=母集団構成比)を算出し、ウェイトバック集計(WB集計)を実施。
※WB集計は、回収されたサンプル(標本)を母集団の市場構成比に合わせて補正する方法を指す。

■ WB前n数

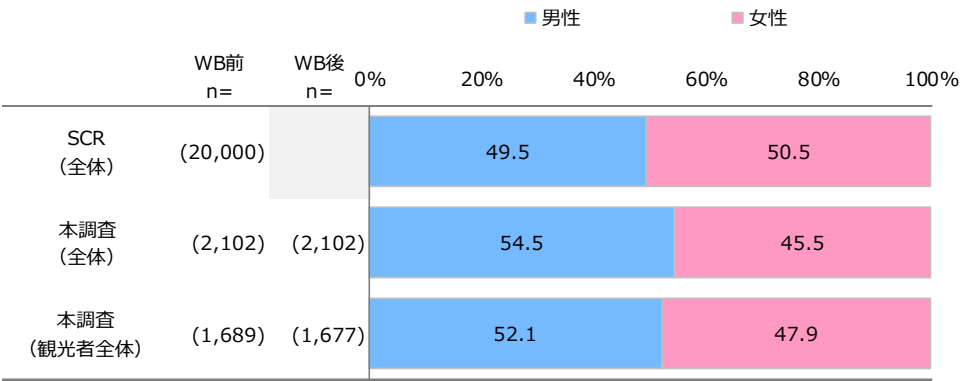
	男性20-29歳	男性30-39歳	男性40-49歳	男性50-59歳	男性60-79歳	女性20-29歳	女性30-39歳	女性40-49歳	女性50-59歳	女性60-79歳	計
北海道	23	19	15	22	42	18	18	16	13	24	210
宮城県	14	17	20	20	36	13	15	19	16	42	212
東北+新潟	24	32	40	36	66	36	36	36	39	72	417
北関東	20	17	18	24	37	18	13	16	16	32	211
一都三県	48	46	47	41	57	40	27	31	25	54	416
中部	22	23	22	20	39	20	12	12	10	30	210
関西	32	20	19	16	40	13	13	11	13	33	210
中国	11	19	9	8	22	7	5	7	8	13	109
九州	8	15	8	11	20	8	8	4	6	19	107
計	202	208	198	198	359	173	147	152	146	319	2,102

■ WB後n数

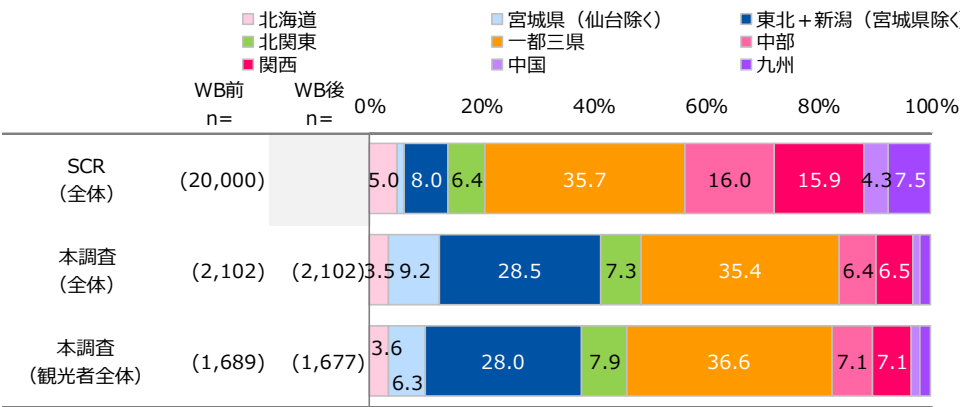
	男性20-29歳	男性30-39歳	男性40-49歳	男性50-59歳	男性60-79歳	女性20-29歳	女性30-39歳	女性40-49歳	女性50-59歳	女性60-79歳	計
北海道	8	6	5	8	15	6	6	5	4	9	73
宮城県	13	15	18	18	33	11	13	18	15	38	193
東北+新潟	35	46	56	51	96	50	52	53	56	103	598
北関東	14	13	13	18	27	13	9	12	11	24	153
一都三県	86	85	84	72	102	71	48	55	45	98	744
中部	15	15	14	13	25	12	7	8	6	19	134
関西	22	13	12	11	27	8	8	7	8	22	137
中国	5	3	2	2	6	2	1	2	2	4	28
九州	5	4	3	4	8	3	3	2	2	8	41
計	203	199	208	196	338	177	147	161	149	323	2,102

回答者プロフィール

性別

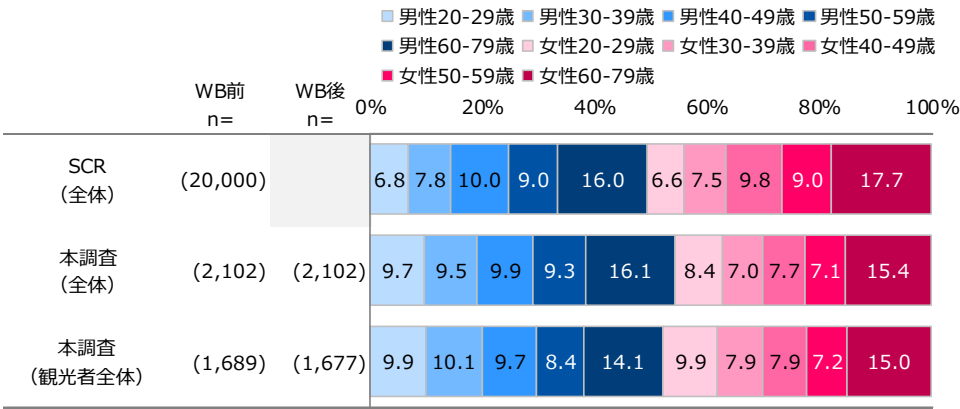


居住地

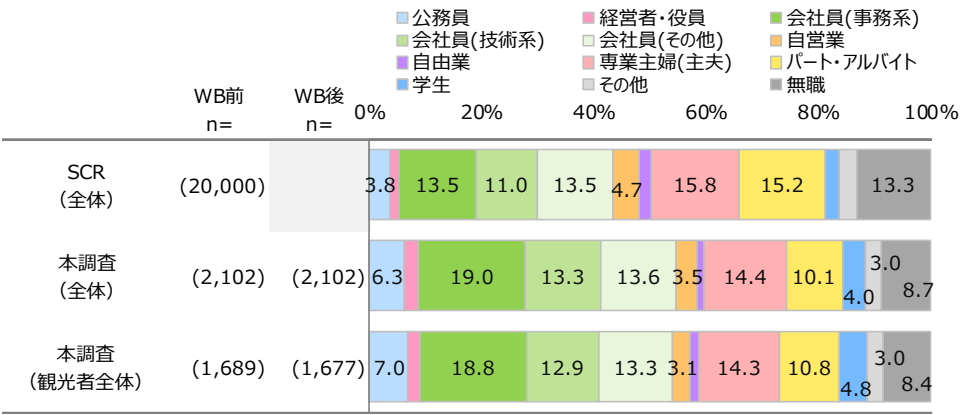


※3%未満のスコア非表示

性年代別



職業



※3%未満のスコア非表示

調査結果サマリー

国内旅行に関する市場動向・トピック

※外部データ含む

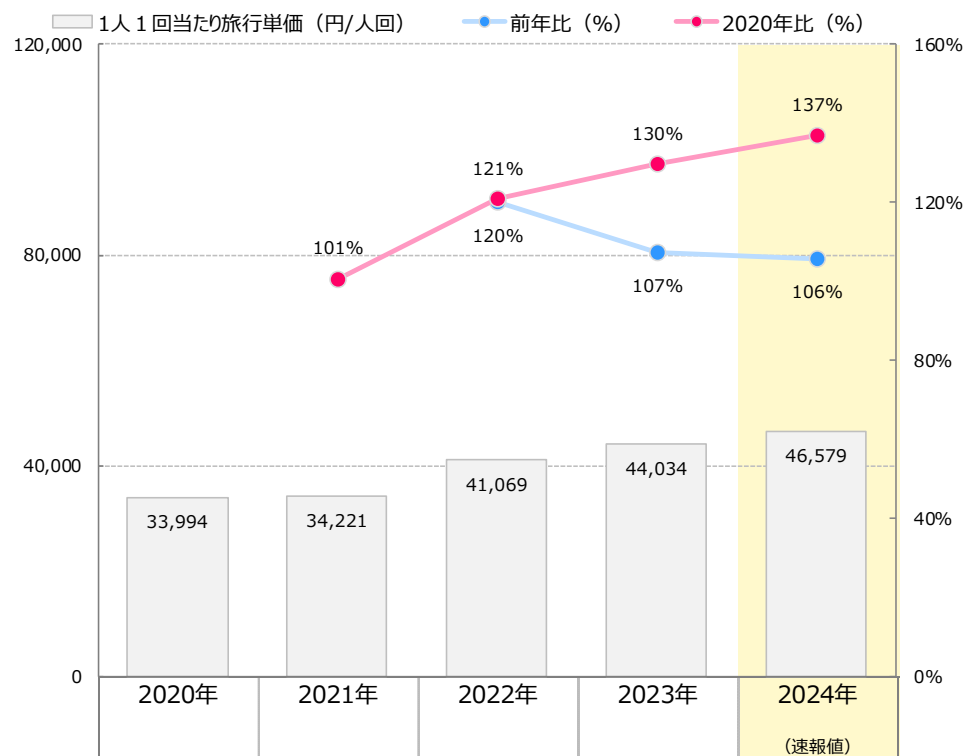
各外部データを含めて整理しているが、調査仕様・データの取得方法によって傾向は異なるため、“各データごとに時系列で推移を把握”し、**複数の外部データを踏まえて総合的なトレンドを解釈**・仕様の違いの例）調査地域、調査対象者属性（性年代など）

旅行消費単価と消費者物価指数

観光庁：旅行・観光消費動向調査より
総務省：2020年基準消費者物価指数より

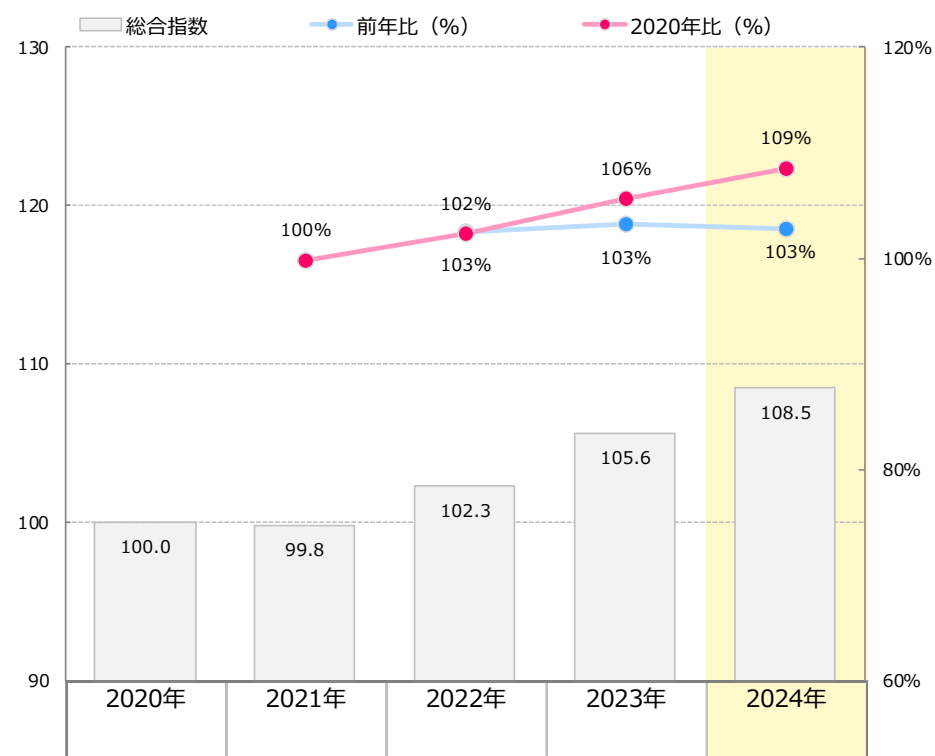
2024年の「旅行消費単価」は2020年以降では最高額。なお「消費者物価指数」も近い波形で推移しているため、単価上昇は旅行中の消費が積極的だったのではなく、物価上昇が影響した（受動的な）可能性も。

旅行消費単価（円/人回）の推移



消費者物価指数（総合指数・年平均）の推移

※2020年を基準（100）としての数値

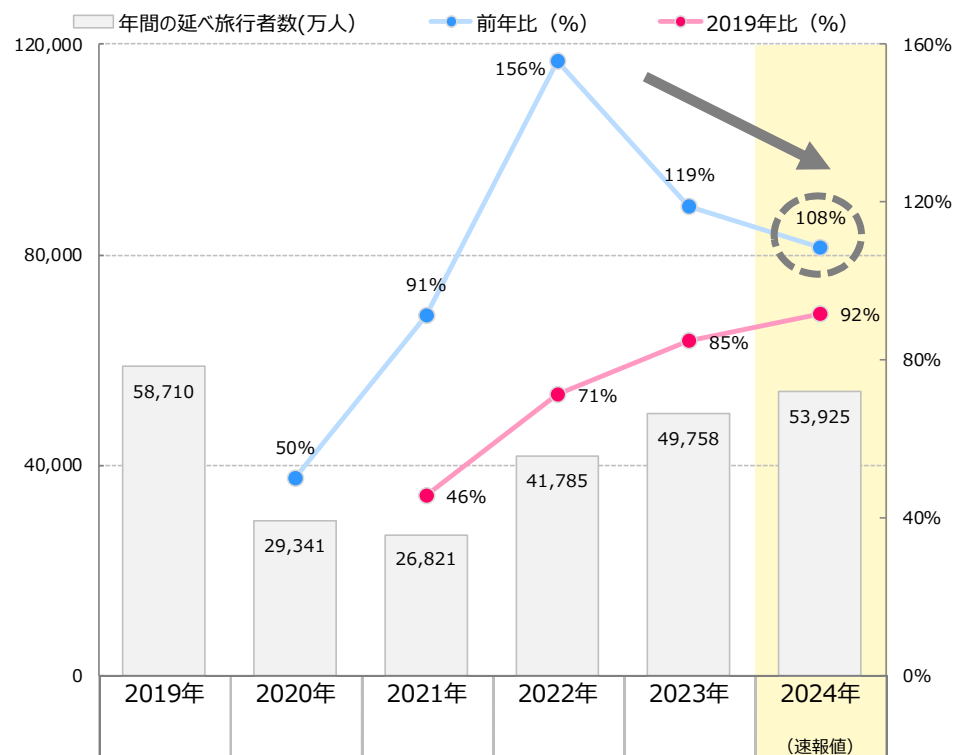


日本居住者の国内旅行者数

観光庁：旅行・観光消費動向調査より

「延べ旅行者数」は前年を上回るが、前年比は108%で昨年の119%より低い。延べ旅行者を宿泊有無で細分化すると「宿泊旅行」は前年比104%／「日帰り旅行」は前年比114%で、日帰り旅行のほうが活発。

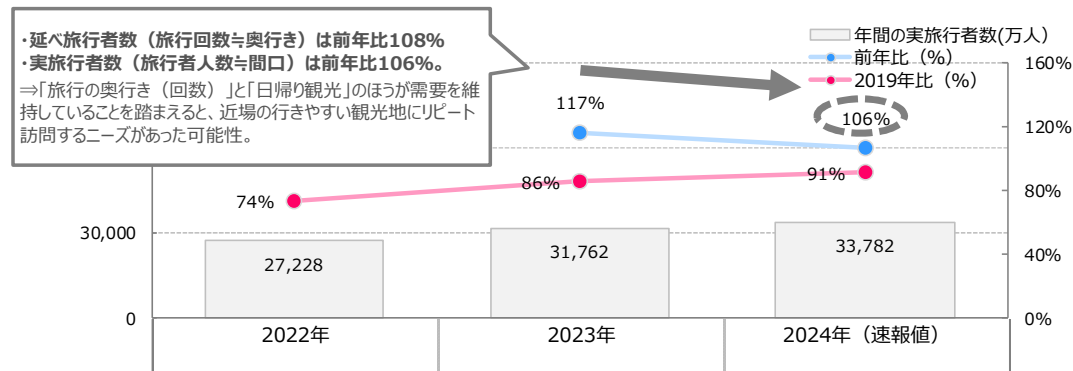
国内延べ旅行者数の推移



延べ旅行者数の推移（2022年～）

		2022年	2023年	2024年 (速報値)
延べ旅行者数 (単位：万人)	延べ旅行者数全体	41,785	49,758	53,925
	うち、宿泊旅行	23,247	28,135	29,305
	うち、観光・レクリエーション	14,483	16,936	17,542
	うち、日帰り旅行	18,539	21,623	24,619
	うち、観光・レクリエーション	13,948	15,900	17,814
前年比 (単位：%)	延べ旅行者数全体	-	119.1%	108.4%
	うち、宿泊旅行	-	121.0%	104.2%
	うち、観光・レクリエーション	-	116.9%	103.6%
	うち、日帰り旅行	-	116.6%	113.9%
	うち、観光・レクリエーション	-	114.0%	112.0%

【参考】“実”旅行者数の推移



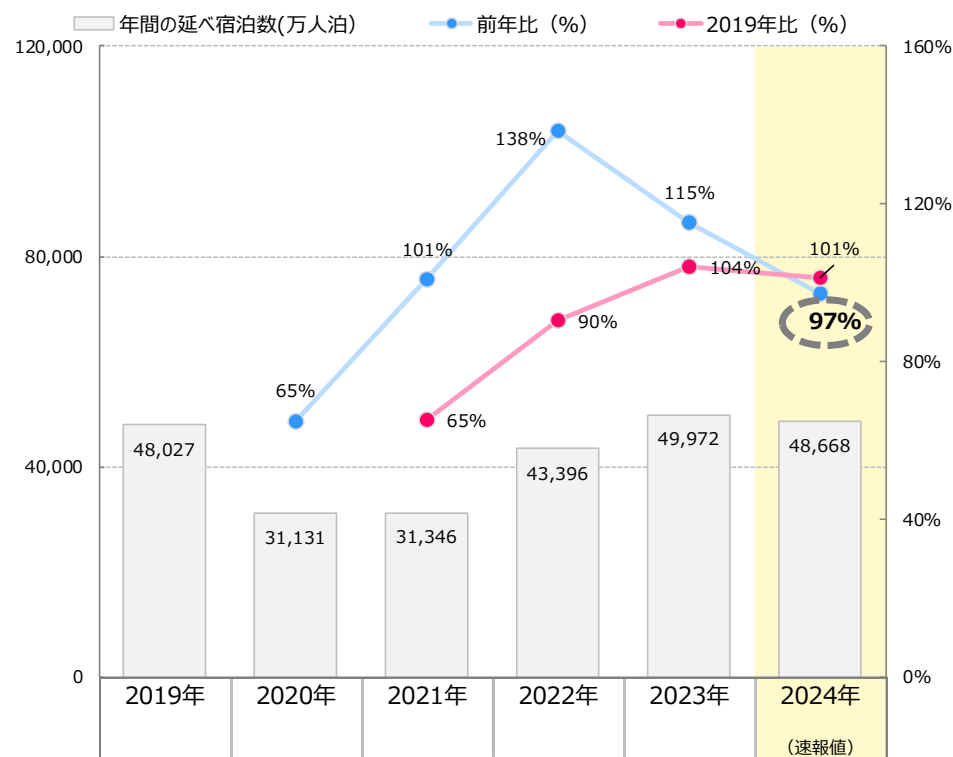
※実旅行者数：複数回旅行しても同じ人であれば「1人」として計算される

日本人宿泊数

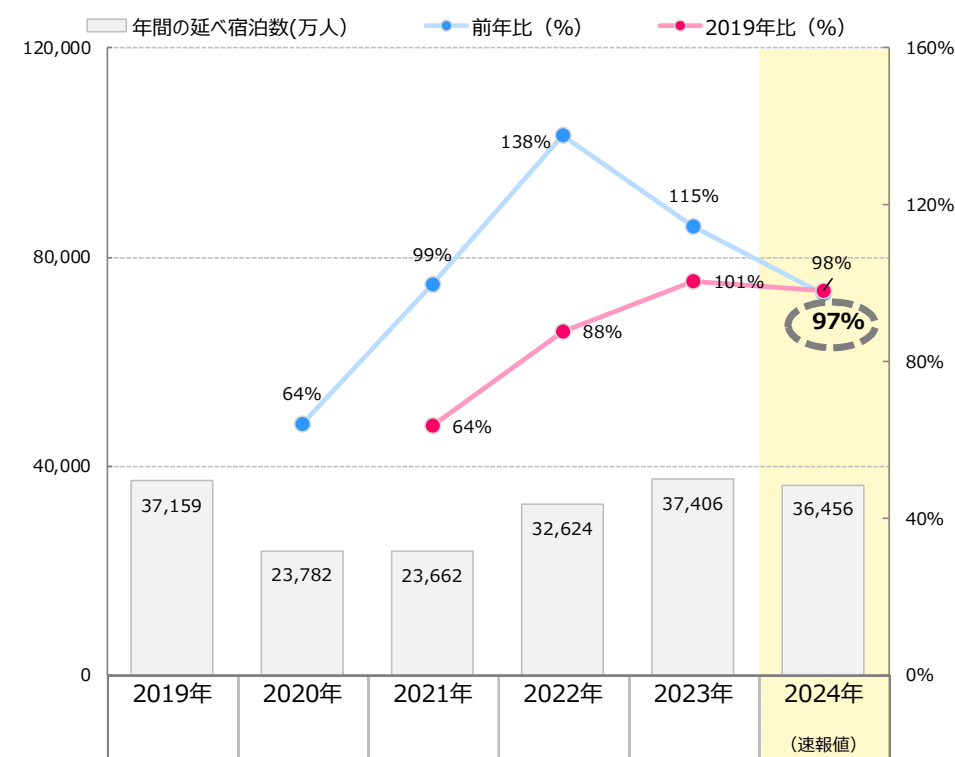
観光庁：宿泊旅行統計調査より

一方で宿泊旅行統計調査では、日本人の「延べ泊数」は前年を下回り前年比97%で、実宿泊者数も同様に前年を下回る。前頁の傾向も踏まえると、日本人の「宿泊旅行市場」の成長・回復は停滞傾向にあると推察。

延べ宿泊数の推移 ※外国人を除いて集計



実宿泊者数の推移 ※外国人を除いて集計



観光頻度

時系列あり

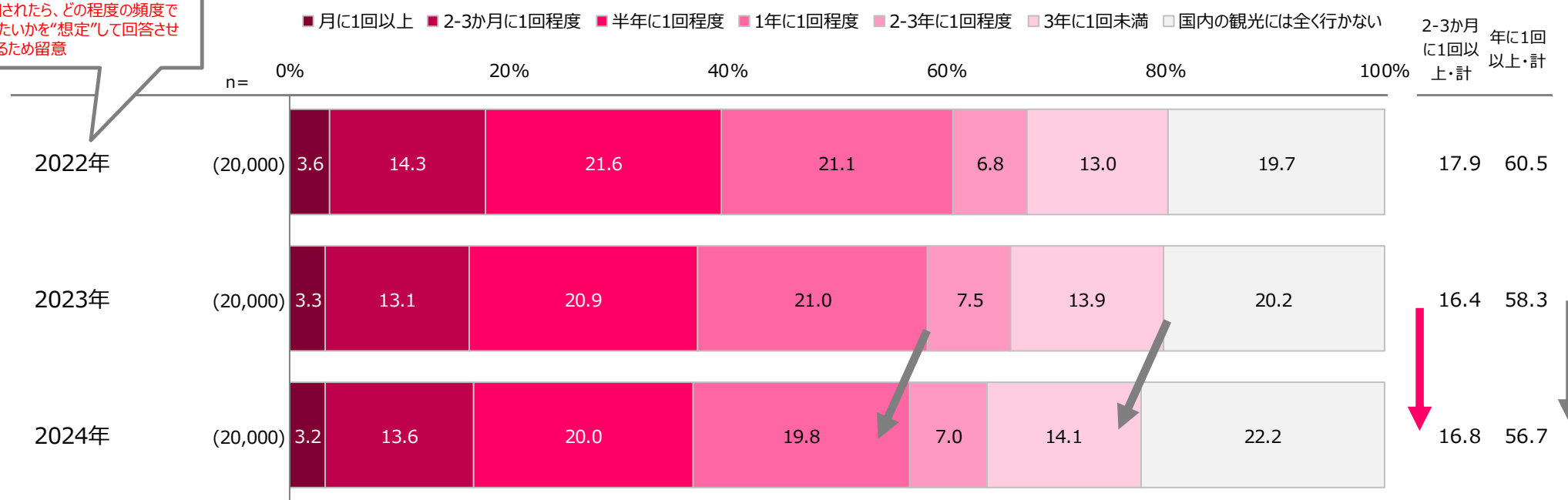
SCR調査

仙台市観光実態調査をみると、「年に1回以上の観光者」のボリュームは56.7%で昨年より微減。
一方で「2-3か月に1回以上」の観光頻度の高い層についてはボリュームを維持。

国内観光の頻度

※ベース：全体

※2022年調査は、コロナが規制緩和されたら、どの程度の頻度で行きたいかを“想定”して回答させているため留意



※2-3か月に1回以上・計：「月に1回以上」+「2-3か月に1回程度」
※年に1回以上・計：「月に1回以上」～「1年に1回程度」

SQ1. あなたは普段、どの程度の頻度で国内の観光に行きますか。最もあてはまるものを選択してください。（SA）

1.観光指標の結果

1-1.仙台観光（時系列比較あり）

観光ファネル

時系列あり

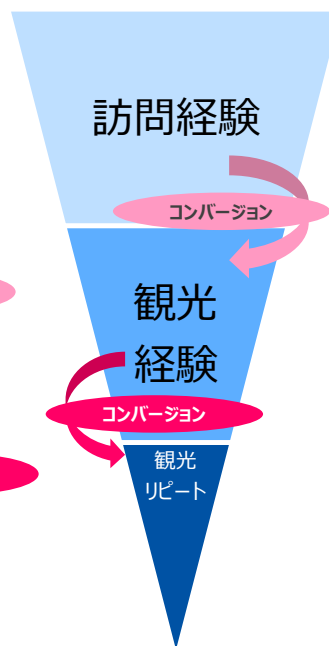
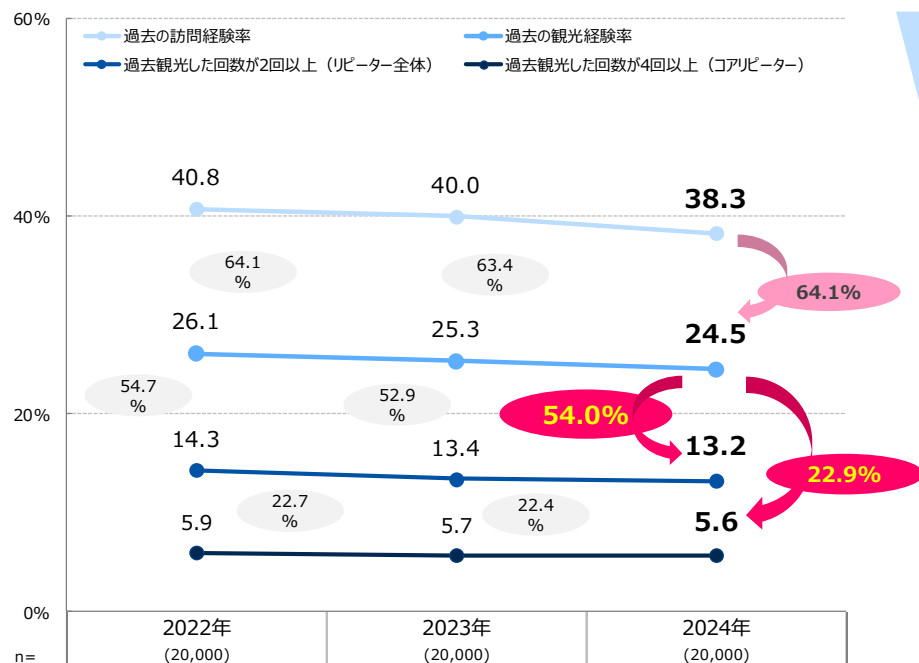
SCR調査

仙台観光のリピーターへのコンバージョン率は54.0%で昨年から回復し、コアなリピーター（観光回数4回以上）へのコンバージョン率は22.9%で僅かだがこれまでの調査で最も高い。
ただし、間口である訪問経験率は低下傾向が続き38.3%。

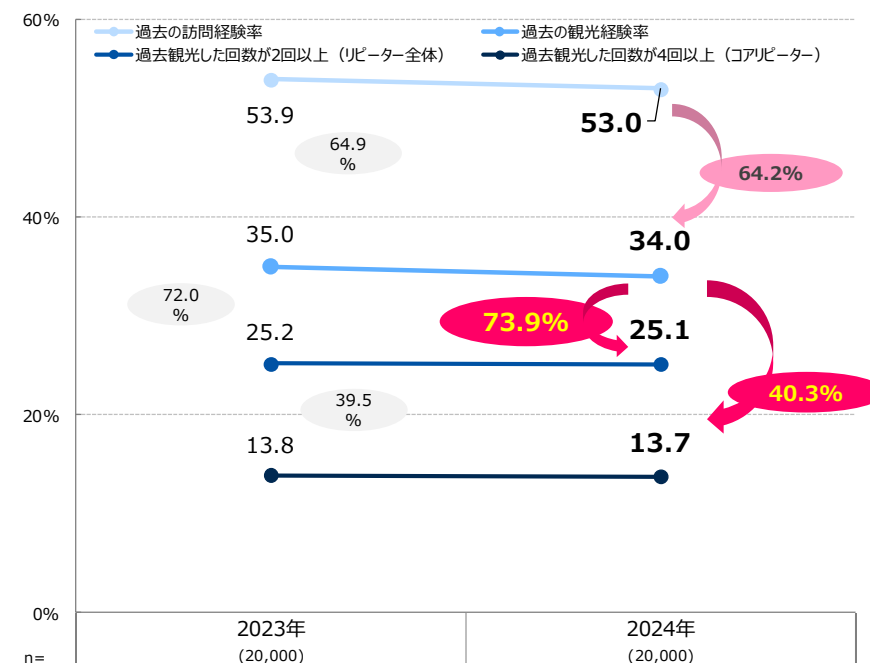
観光ファネル

※ベース：全体

仙台



東北



SQ2. 以下の地域へ訪問経験について、あなたに当てはまるものをそれぞれすべて選択してください。※観光には、スポーツ、コンサート、ショッピングを主目的とした訪問も含まれます。（MA）
SQ3. 以下の地域へ観光を目的とした訪問経験がある方にお聞きます。あなたがこれまでに、それぞれの地域に観光を目的として訪問した回数を選択してください。（SA）
SQ4. 以下のエリアへ訪問経験について、あなたに当てはまるものをそれぞれすべて選択してください。※観光には、スポーツ、コンサート、ショッピングを主目的とした訪問も含まれます。（MA）
SQ5. 以下のエリアへ観光を目的とした訪問経験がある方にお聞きます。あなたがこれまでに、それぞれのエリアに観光を目的として訪問した回数を選択してください。（SA）

© Macromill, Inc.

東北も仙台と同様の傾向

訪問経験率の競合比較

時系列あり

SCR調査

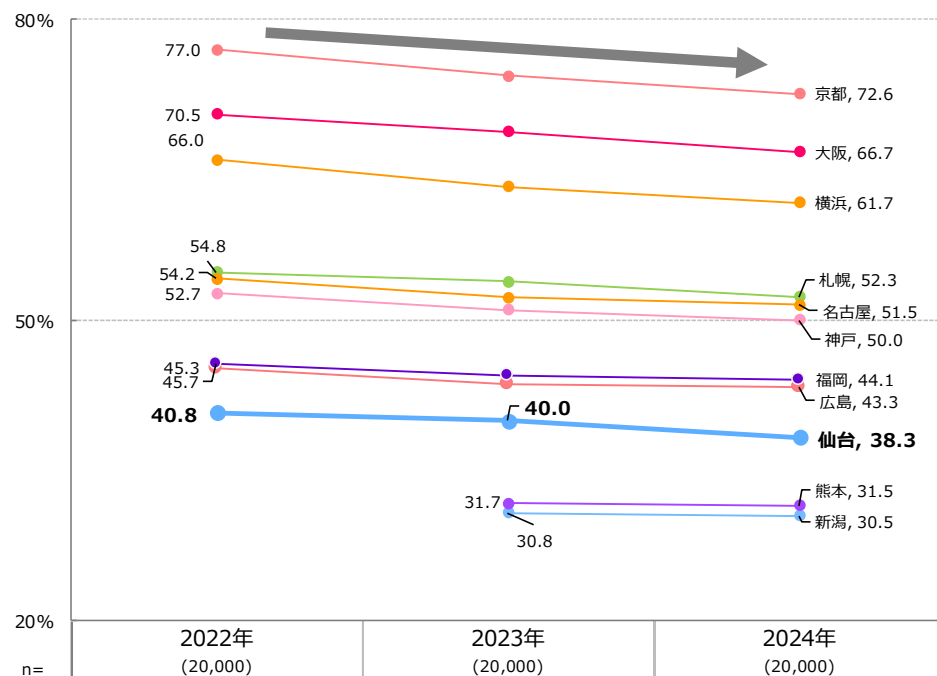
仙台／東北地方以外も訪問経験率は低下傾向。特に京都・大阪・横浜等の上位地域の減少が目立つ。

⇒前章に記載した物価高や宿泊費の高騰等で、全体として旅行控え（旅行者の間口減少）が起きていると仮定すると、リピーターを獲得して(リピーターとの関係を強化して)、需要を維持していく動きが求められるか。（仮説）

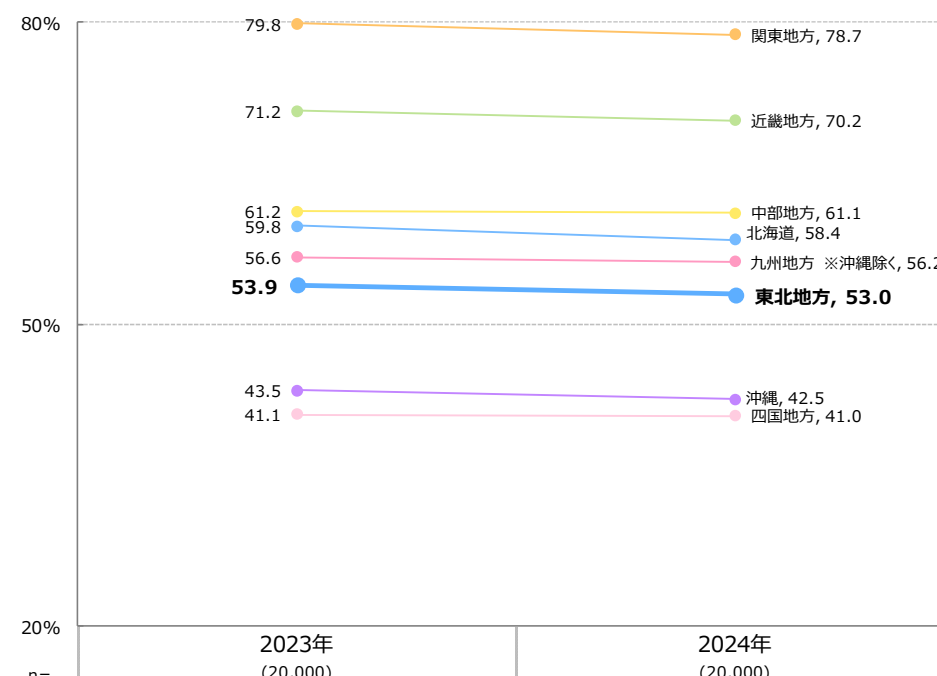
訪問経験率

※ベース：全体

仙台vs他地域



東北vs他エリア



SQ2. 以下の地域へ訪問経験について、あなたに当てはまるものをそれぞれすべて選択してください。※観光には、スポーツ、コンサート、ショッピングを主目的とした訪問も含まれます。(MA)

SQ4. 以下のエリアへ訪問経験について、あなたに当てはまるものをそれぞれすべて選択してください。※観光には、スポーツ、コンサート、ショッピングを主目的とした訪問も含まれます。(MA)

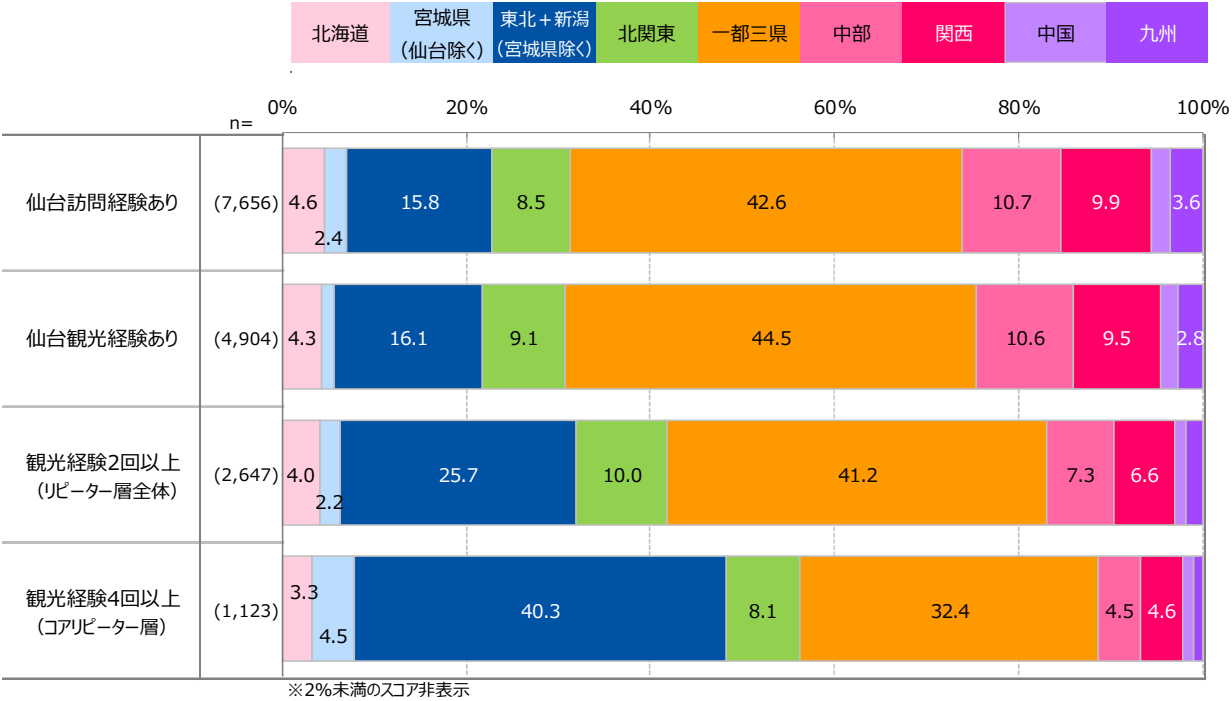
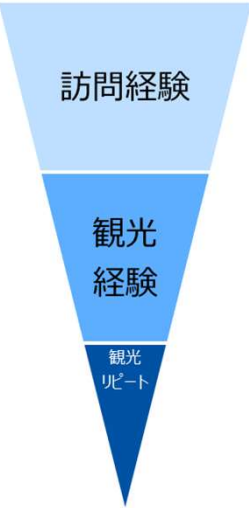
© Macromill, Inc.

居住地構成比

仙台観光リピーター層の居住地は「東北・関東圏」比率が高く、コアなリピーターは東北＋一都三県で7割超。
昨年と比率を比較すると、大きな変化ではないが東北のリピーターは微増／一都三県のリピーターは微減。

仙台観光ファネルの階層別の居住地構成比

※ベース：仙台訪問経験者



↓ 2024年-2023年のスコア差分(pt)

	北海道	宮城*	東北+ 新潟*	北関東	一都 三県	中部	関西	中国	九州
訪問経験	-0.32	-0.04	0.45	-0.08	-0.15	0.25	-0.22	-0.04	0.16
観光経験	0.65	-0.47	0.41	-0.66	0.53	0.32	-0.61	0.02	-0.19
観光経験2回以上 (リピーター層全体)	0.68	-0.61	0.95	-0.21	-1.28	0.39	0.12	0.13	-0.16
観光経験4回以上 (コアリピーター層)	0.13	-0.74	1.25	-0.79	-0.86	-0.30	0.49	0.81	0.01

*仙台除く *宮城除く

SQ2. 以下の地域へ訪問経験について、あなたに当てはまるものをそれぞれすべて選択してください。※観光には、スポーツ、コンサート、ショッピングを主目的とした訪問も含まれます。(MA)
SQ3. 以下の地域へ観光を目的とした訪問経験がある方にお聞きします。あなたがこれまでに、それぞれの地域に観光を目的として訪問した回数を選択してください。(SA)

年間の訪問実態

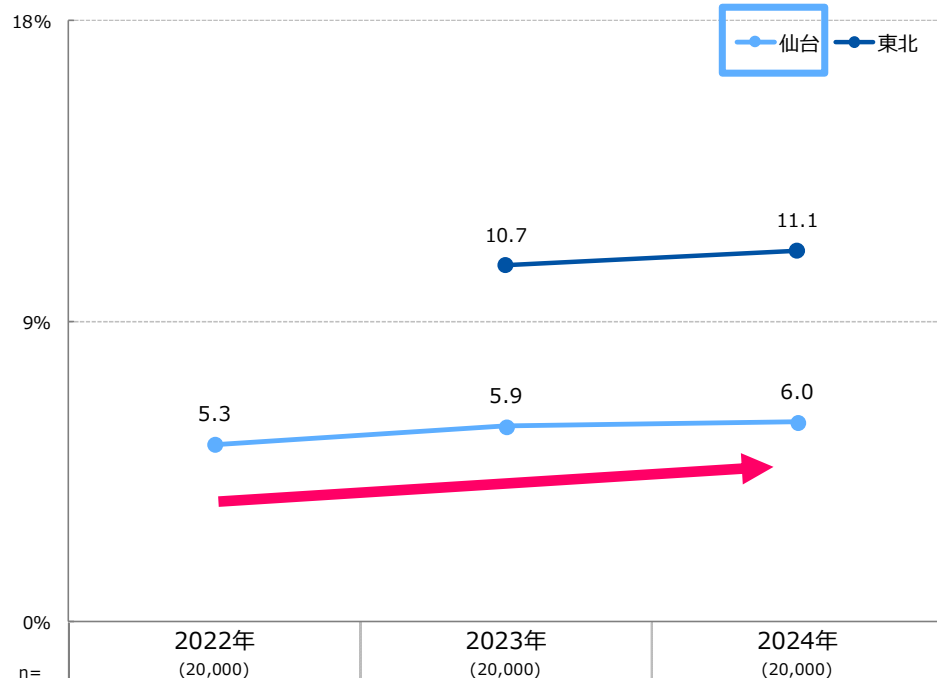
時系列あり

SCR調査

2024年の年間の仙台訪問率は6%で2022年から微増トレンドが続く。訪問者の構成比をみると、仙台観光回数ではコアなリピーター、居住地では「東北」の比率の増加が相対的に目立つ。

年間訪問率（仙台・東北）

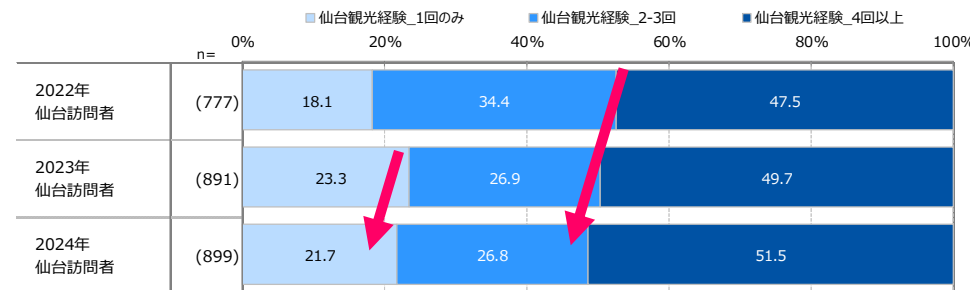
※ベース：全体



仙台訪問者の構成比

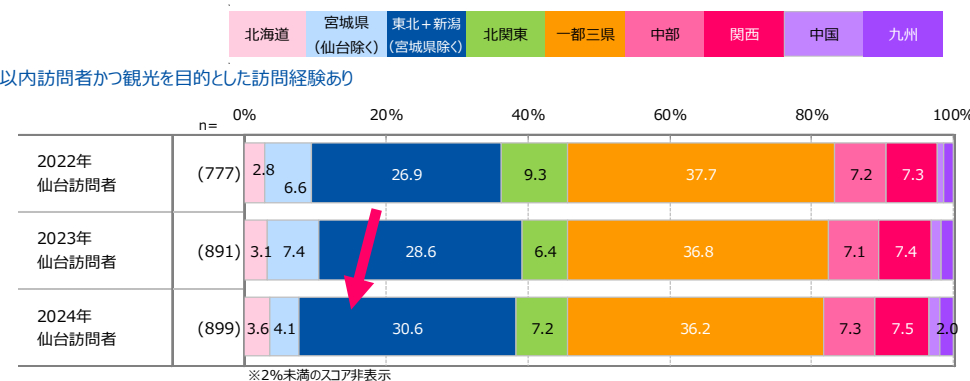
※ベース：直近1年以内訪問者かつ観光を目的とした訪問経験あり

仙台過去
観光回数
の構成比



※ベース：直近1年以内訪問者かつ観光を目的とした訪問経験あり

居住地
構成比



※2%未満のスコア非表示

SQ2. 以下の地域へ訪問経験について、あなたに当てはまるものをそれぞれすべて選択してください。※観光には、スポーツ、コンサート、ショッピングを主目的とした訪問も含まれます。(MA)
SQ3. 以下の地域へ観光を目的とした訪問経験がある方にお聞きます。あなたがこれまでに、それぞれの地域に観光を目的として訪問した回数を選択してください。(SA)

指標一覧（居住地別）

各指標を居住地別にみると、「一都三県」居住者のスコアは全体的に前年よりもやや低め。
反対に、「東北＋新潟居住者」は各指標のスコアが前年よりも高く相対的に好調である。

観光経験率・リピーター率・年間訪問率・年間訪問者に占めるリピーター比率

※ベース：全体

		全体	北海道	宮城県 (仙台除く)	東北+新潟 (宮城県除く)	北関東	居住地別 一都三県	中部	関西	中国	九州	
2024年n=		(20,000)	(1,005)	(227)	(1,601)	(1,285)	(7,138)	(3,192)	(3,176)	(867)	(1,509)	
観光経験率	2024年スコア	24.5%	21.1%	27.3%	49.4%	34.7%	30.6%	16.2%	14.6%	10.5%	8.9%	
	2023年との差分	-0.8pt	2.6pt	-11.5pt	-0.3pt	-3.7pt	-0.6pt	0.0pt	-1.4pt	-0.2pt	-0.9pt	
リピーター ボリューム	2024年スコア	13.2%	10.6%	25.6%	42.4%	20.5%	15.3%	6.0%	5.5%	3.8%	3.1%	
	2023年との差分	-0.2pt	1.7pt	-7.5pt	1.1pt	-0.7pt	-0.7pt	0.3pt	0.0pt	0.3pt	-0.3pt	
リピーター率*	2024年スコア	54.0%	50.5%	93.5%	85.8%	59.2%	50.0%	37.3%	37.6%	36.3%	34.8%	
	2023年との差分	1.1pt	2.1pt	8.3pt	2.7pt	3.9pt	-1.1pt	1.6pt	3.6pt	4.0pt	-0.1pt	
*観光経験→観光リピーター（2回以上）へのコンバージョン												
年間訪問率	2024年スコア	6.0%	3.5%	44.1%	22.8%	6.7%	5.8%	2.4%	2.5%	1.8%	1.6%	
	2023年との差分	0.1pt	-0.4pt	-7.0pt	2.2pt	1.2pt	0.0pt	-0.2pt	-0.1pt	0.1pt	0.3pt	
※ベース：2024年訪問者ベース		2024年n=	(899)	(32)	(37)	(275)	(65)	(325)	(66)	(67)	(14)	(18)
年間訪問者に 占めるリピーター率	2024年スコア	78.3%	71.9%	97.3%	93.8%	78.5%	70.8%	63.6%	62.7%	71.4%	66.7%	
	2023年との差分	1.7pt	11.2pt	9.4pt	2.1pt	4.8pt	-2.4pt	4.9pt	2.1pt	25.3pt	6.7pt	

※2024年調査、もしくは2023年調査でn=30未満はグレーアウト

SQ2. 以下の地域へ訪問経験について、あなたに当てはまるものをそれぞれすべて選択してください。※観光には、スポーツ、コンサート、ショッピングを主目的とした訪問も含まれます。（MA）
SQ3. 以下の地域へ観光を目的とした訪問経験がある方にお聞きます。あなたがこれまでに、それぞれの地域に観光を目的として訪問した回数を選択してください。（SA）

主要トラッキング指標

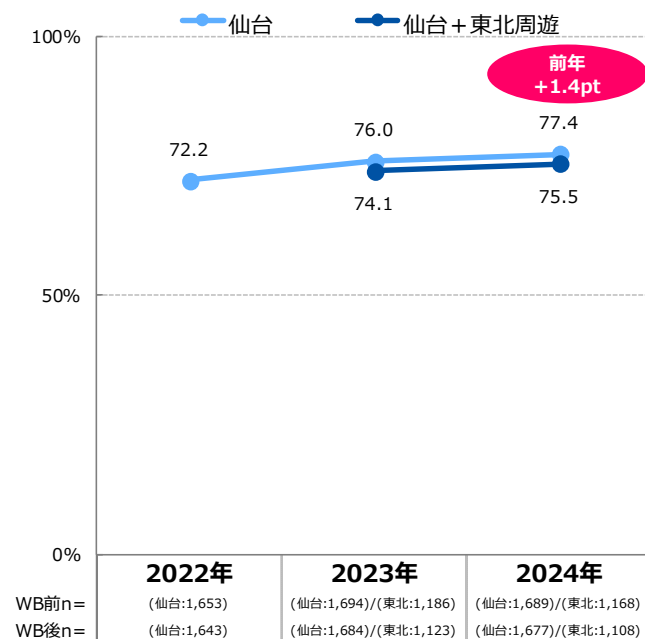
時系列あり

本調査

仙台の「総合満足度」「観光消費額」は2022年から上昇が続くが、「再訪意向」は現状維持。
仙台として聴取した再訪意向ではなく、仙台＋東北周遊の「再訪意向」は前年から+3pt増加。

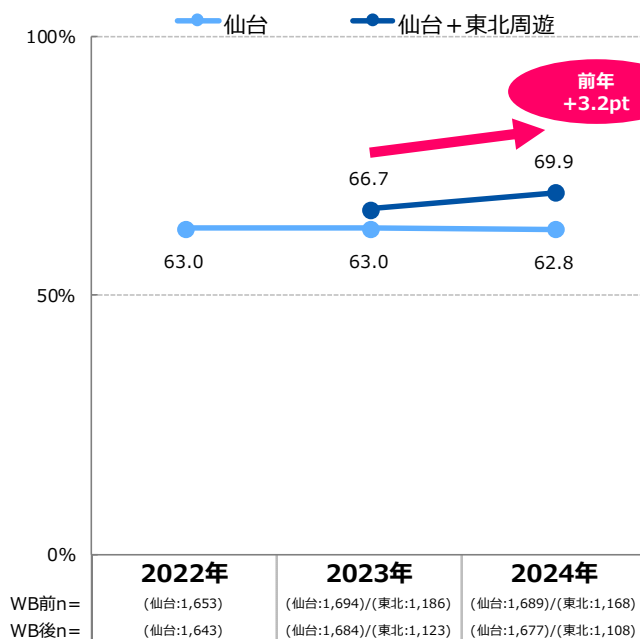
総合満足度 (Top2)

※ベース：仙台_仙台観光者
：東北_仙台＋仙台以外の地域へ観光者



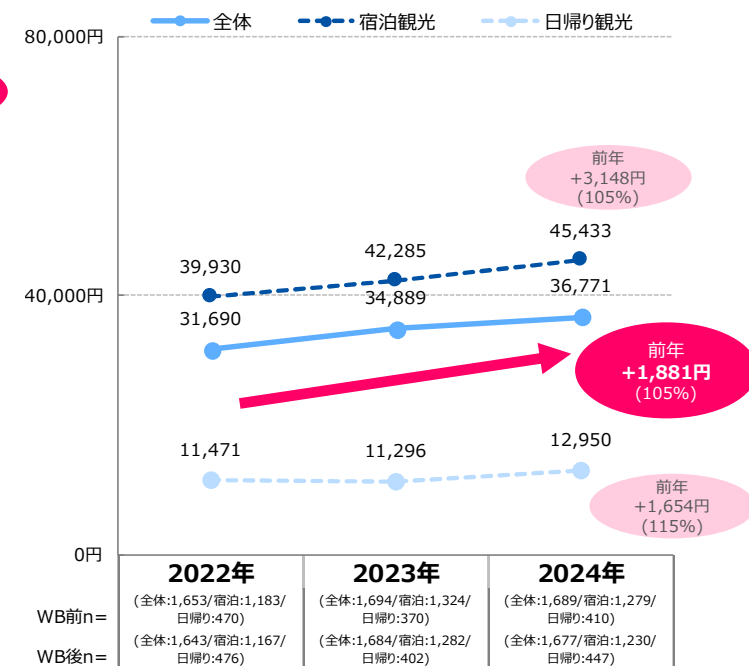
再訪意向 (Top2)

※ベース：仙台_仙台観光者
：東北_仙台＋仙台以外の地域へ観光者



仙台市内の観光消費額 (単位：円/人回)

※ベース：仙台観光者



Q17. あなたは今回「仙台」に訪問して、総合的にどの程度満足しましたか。最もお気持ちに近いものを選択してください。(SA)

Q23. あなたは今回の「東北地方を周遊した観光」について、総合的にどの程度満足しましたか。最もお気持ちに近いものを選択してください。(SA)

Q20. あなたは今後観光を目的として、「仙台」にどの程度訪問したいと思いますか。最もお気持ちに近いものを選択してください。※宿泊や日帰りは問いません。(SA)

Q25. あなたは今後、「仙台と東北地方を周遊する観光」を目的として、東北地方への程度訪問したいと思いますか。最もお気持ちに近いものを選択してください。※宿泊や日帰りは問いません。(SA)

Q16. 今回〔Q6の選択内容〕の仙台（東北地方）への訪問に関して、以下の項目ごとにあなた1人分の支出金額をそれぞれ選択してください。※あなたが支払いをしていない場合は、ご自身はどのくらい費用負担が必要だったかを回答してください。※グループの場合は1人あたりに換算してお答えください。(SA)

総合満足度の深掘り

時系列あり

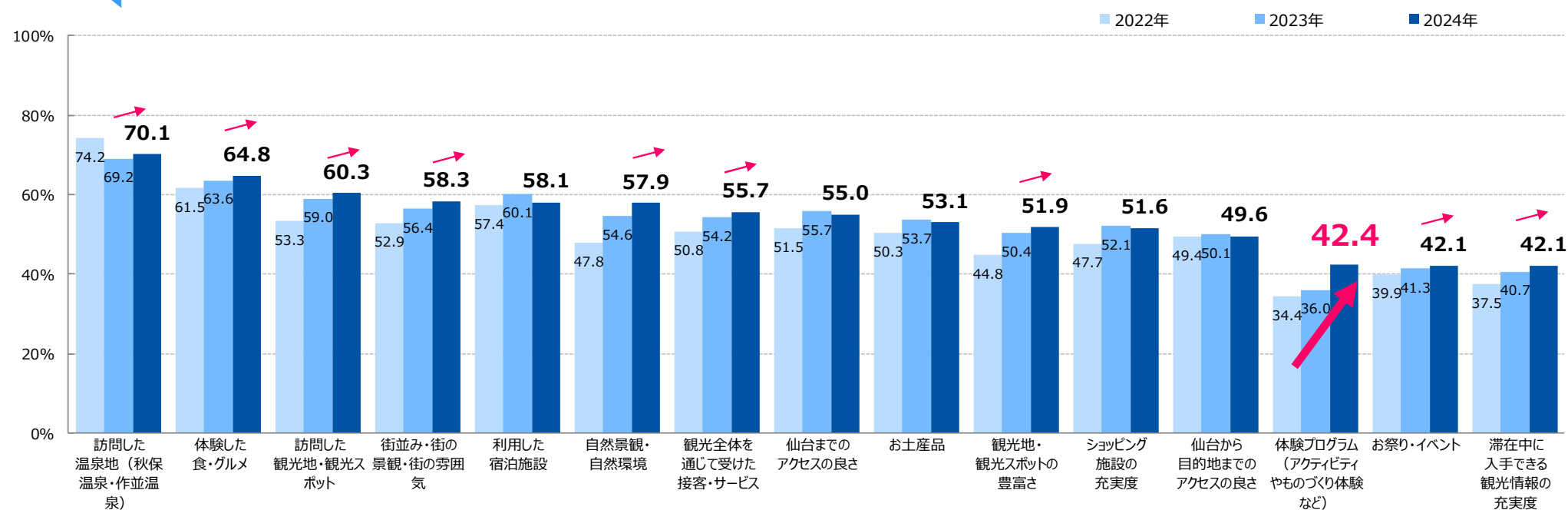
本調査

2022年→2023年で高めた各満足要素のスコアは2024年調査でさらに上昇している項目が多く、前頁の総合満足度の上昇につながったと推察。なかでも、「体験プログラム」が前年+6ptとスコアの上昇が目立つ。

仙台観光の要素別満足度

※ベース：仙台観光者

仙台観光に満足した要素の上位



Q18. それでは、あなたは「仙台」を観光して、以下の項目ごとにどの程度満足しましたか。それぞれお気持ちに近いものを選択してください。（SA）

© Macromill, Inc.

再訪意向の深掘り

時系列あり

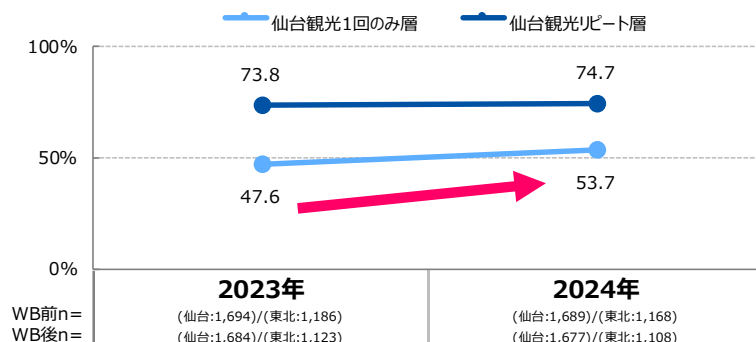
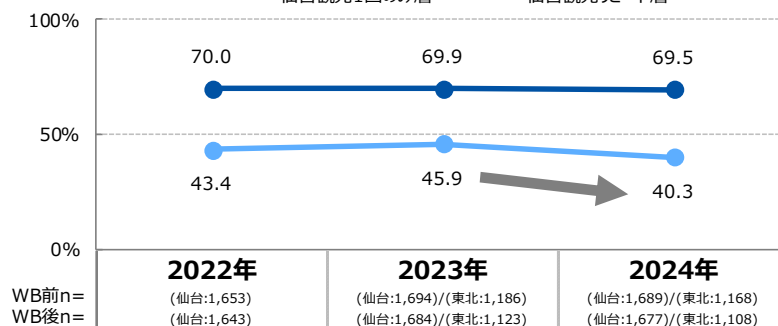
本調査

リピーター層の再訪意向は維持できているため、スコアが下がっている“1回のみ層”の再訪意向獲得が必要。
1回のみ層は、仙台＋東北周遊の再訪意向が高く、「行っていない地域を訪れたい」というニーズを強く持つ。

再訪意向の詳細

※ベース：仙台_仙台観光者／東北_仙台＋仙台以外の地域へ観光者

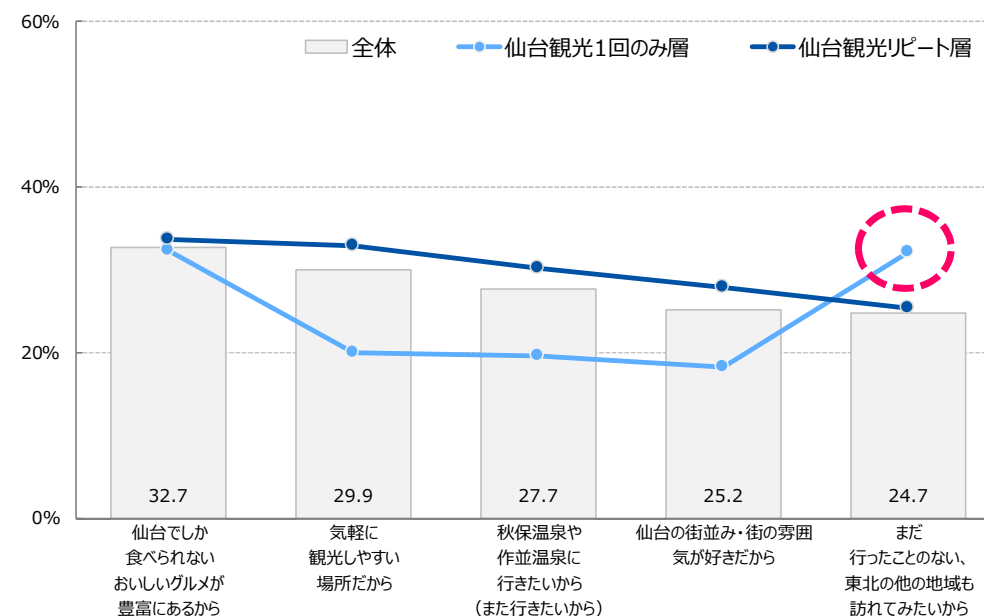
— 仙台観光1回のみ層 — 仙台観光リピーター層



仙台への再訪意向理由（2024年）

※ベース：仙台への再訪意向Top3選択者

← 仙台に再訪したい理由（全体の上位5位まで抜粋）



Q20. あなたは今後観光を目的として、「仙台」にどの程度訪問したいと思いますか。最もお気持ちに近いものを選択してください。※宿泊や日帰りは問いません。（SA）

Q25. あなたは今後、「仙台と東北地方を周遊する観光」を目的として、東北地方へどの程度訪問したいと思いますか。最もお気持ちに近いものを選択してください。※宿泊や日帰りは問いません。（SA）

Q21. 引き続き、「仙台」に【Q20の選択内容】と回答した方にお聞きします。そのようにお答えになった理由について、以下の中からあてはまるものを選択してください。（MA）

観光消費額の深掘り／宿泊率

時系列あり

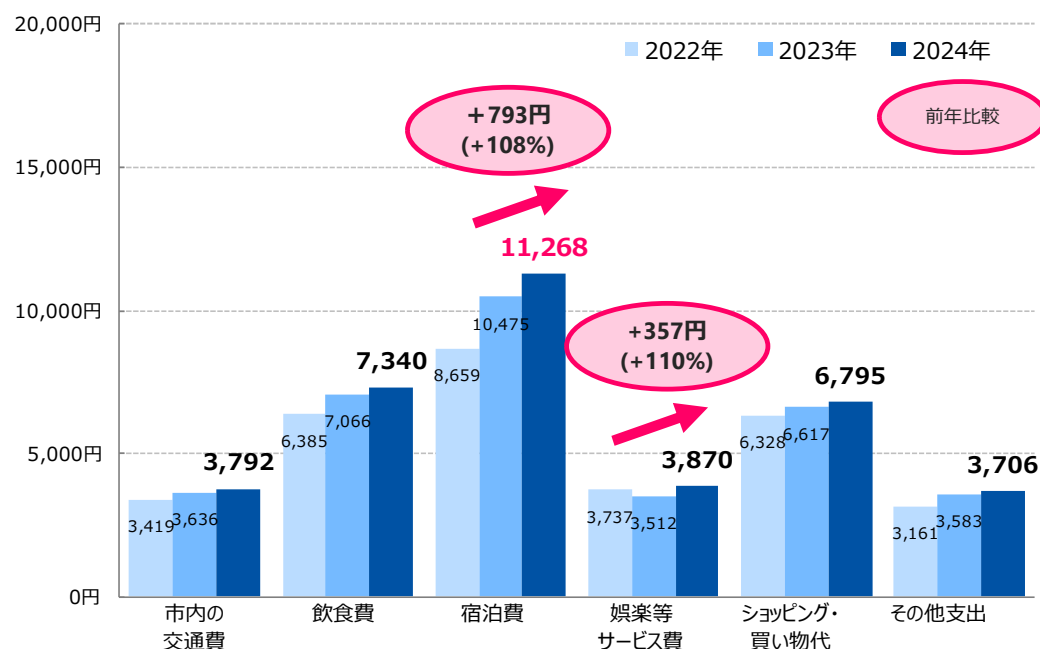
本調査

宿泊費は唯一1万超えで、前年との差額も+793円で相対的に大きい。単価向上への影響も大きく、効率的に消費額を高めるには宿泊させることは重要だが、2024年の宿泊率は前年からやや低下。（複数泊率は微増）

仙台市内の“費目別”観光消費額（単位：円/人回）

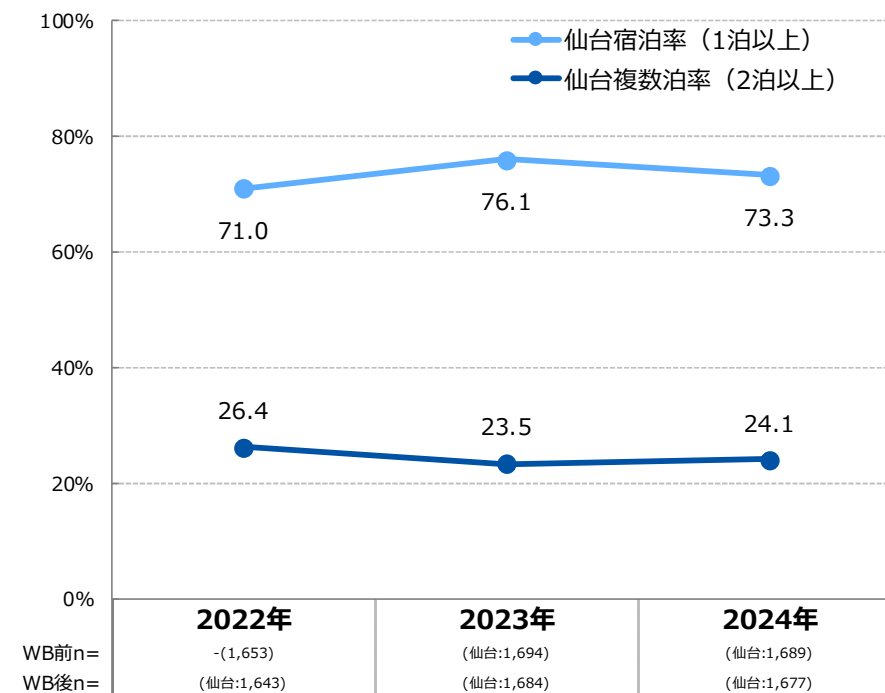
※ベース：仙台観光者

2024年全体の観光消費単価：36,771円 前年（+1,881円 +105%）



仙台市内の宿泊率

※ベース：仙台観光者



Q16. 今回（【Q6の選択内容】）の仙台（東北地方）への訪問に関して、以下の項目ごとにあなた1人分の支出金額をそれぞれ選択してください。※あなたが支払いをしていない場合は、ご自身はどのくらい費用負担が必要だったかを回答してください。※グループの場合は1人あたりに換算してお答えください。（SA）
Q9. あなたはこの訪問のときに宿泊をしましたか。宿泊を行った方は、以下の項目ごとに宿泊日数もあわせて教えてください。（SA）

指標一覧（居住地別）

各指標を居住地別にみると、仙台近隣の「宮城」「東北＋新潟」「北関東」は各指標のスコアが前年よりも高く相対的に好調。「一都三県」は、スコアの絶対値は他地域より高いが前年比較するとスコアは全体的に低下。

総合満足度・再訪意向・宿泊率（仙台／仙台＋東北）

※ベース：仙台観光者

		全体	北海道	宮城県 (仙台除く)	東北＋新潟 (宮城県除く)	北関東	居住地別 一都三県	中部	関西	中国	九州	
		2024年WB前n=2024年WB後n=	(1,689) (1,677)	(172) (60)	(117) (106)	(328) (470)	(182) (132)	(343) (614)	(187) (120)	(182) (118)	(89) (23)	(89) (34)
仙台総合満足度 (Top2)	2024年スコア	77.4%	75.9%	73.4%	75.3%	78.6%	79.6%	75.9%	79.2%	79.5%	73.9%	
	2023年との差分	1.4pt	-0.4pt	10.1pt	2.0pt	1.7pt	-0.6pt	0.8pt	2.1pt	8.7pt	11.5pt	
仙台再訪意向 (Top2)	2024年スコア	62.8%	56.5%	68.1%	72.9%	64.8%	59.7%	49.1%	54.3%	52.8%	49.9%	
	2023年との差分	-0.2pt	1.0pt	8.2pt	2.0pt	7.8pt	-5.0pt	-3.7pt	1.8pt	7.3pt	6.2pt	
宿泊率	2024年スコア	73.3%	91.3%	42.9%	65.8%	78.6%	77.6%	79.5%	82.7%	83.9%	81.7%	
	2023年との差分	-2.8pt	-0.6pt	-2.2pt	-4.5pt	6.4pt	-3.8pt	-8.1pt	-2.5pt	-4.1pt	1.1pt	
※ベース：仙台＋仙台以外の地域へ観光者		2024年WB前n=2024年WB後n=	(1,168) (1,108)	(120) (42)	(74) (67)	(184) (264)	(121) (88)	(230) (412)	(145) (93)	(145) (95)	(73) (19)	(76) (29)
仙台＋東北周遊 総合満足度 (Top2)	2024年スコア	75.5%	74.2%	64.8%	74.0%	76.2%	79.1%	72.4%	73.7%	77.3%	77.1%	
	2023年との差分	1.4pt	6.7pt	2.2pt	4.1pt	2.5pt	-1.5pt	-1.3pt	2.1pt	12.5pt	3.9pt	
仙台＋東北周遊 再訪意向 (Top2)	2024年スコア	69.9%	66.6%	65.0%	75.0%	72.0%	72.1%	60.0%	64.7%	52.4%	64.7%	
	2023年との差分	3.3pt	3.4pt	6.2pt	1.3pt	10.4pt	0.8pt	4.7pt	10.2pt	-7.2pt	10.9pt	
仙台もしくは他東北地域 への宿泊率	2024年スコア	93.5%	98.3%	77.2%	88.0%	93.5%	96.5%	97.2%	99.3%	97.3%	97.9%	
	2023年との差分	-0.7pt	-0.9pt	4.7pt	-2.1pt	-3.3pt	-1.4pt	-0.8pt	2.3pt	0.1pt	-2.1pt	

Q17. あなたは今回「仙台」に訪問して、総合的にどの程度満足しましたか。最もお気持ちに近いものを選択してください。（SA）
Q23. あなたは今回の「東北地方を周遊した観光」について、総合的にどの程度満足しましたか。最もお気持ちに近いものを選択してください。（SA）
Q20. あなたは今後観光を目的として、「仙台」にどの程度訪問したいと思いますか。最もお気持ちに近いものを選択してください。※宿泊や日帰りは問いません。（SA）
Q25. あなたは今後、「仙台と東北地方を周遊する観光」を目的として、東北地方へのどの程度訪問したいと思いますか。最もお気持ちに近いものを選択してください。※宿泊や日帰りは問いません。（SA）
Q9. あなたはこの訪問のときに宿泊をしましたか。宿泊を行った方は、以下の項目ごとに宿泊日数もあわせて教えてください。（SA）

1.観光指標の結果

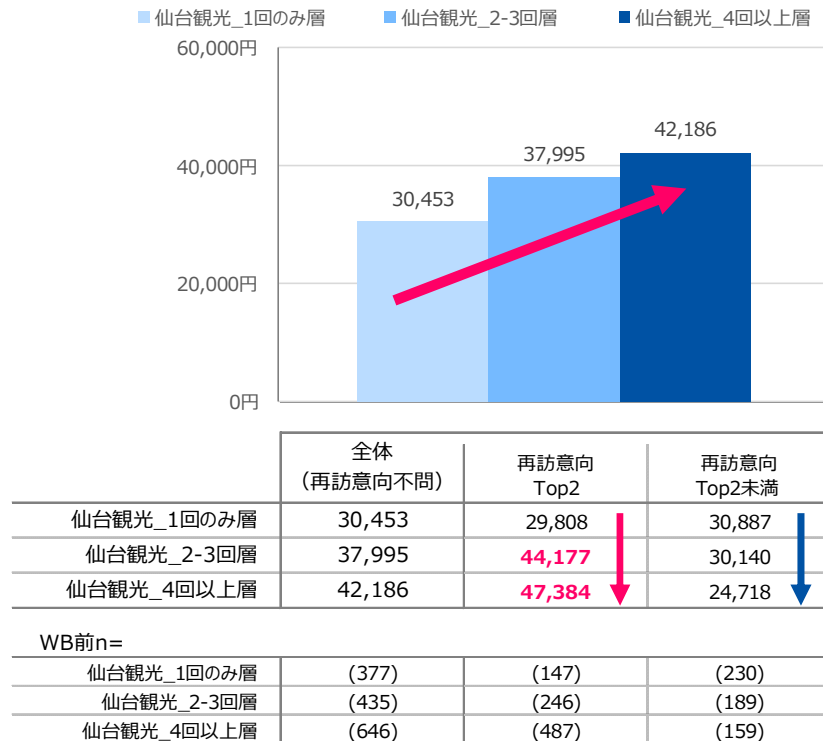
1-3.方向性の確認

仙台観光回数別の観光消費額

仙台観光のリピーターほど観光消費額は高く、4回以上訪問している層は4万円を超える。
 リピーターの観光消費額が高いのは、宿泊率／複数泊率が高い（＝滞在時間が長い）ことが理由のひとつ。

仙台市内の観光消費額（単位：円/人回）

※ベース：仙台観光者



		WB前 n=	WB後 n=	(円/人回) 観光 消費額	(%) 仙台 宿泊率	(%) 仙台 複数泊率
宮城・ 東北+新潟	仙台観光_1回のみ層	(27)	(36)	21,326	53.2	14.6
	仙台観光_2-3回層	(53)	(71)	33,282	71.0	20.2
	仙台観光_4回以上層	(273)	(363)	33,743	63.8	16.7
北関東	仙台観光_1回のみ層	(31)	(22)	23,590	77.7	6.7
	仙台観光_2-3回層	(60)	(43)	35,958	83.4	18.4
	仙台観光_4回以上層	(74)	(54)	40,744	79.7	27.1
一都三県	仙台観光_1回のみ層	(80)	(143)	32,713	78.8	22.6
	仙台観光_2-3回層	(99)	(177)	35,069	69.7	25.4
	仙台観光_4回以上層	(122)	(218)	49,661	82.8	34.5
北海道・ 中部以西	仙台観光_1回のみ層	(239)	(120)	31,743	79.4	26.3
	仙台観光_2-3回層	(223)	(112)	46,426	85.0	32.3
	仙台観光_4回以上層	(177)	(87)	59,528	84.0	35.8

Q16. 今回〔Q6の選択内容〕の仙台（東北地方）への訪問に関して、以下の項目ごとにあなた1人分の支出金額をそれぞれ選択してください。※あなたが支払いをしていない場合は、ご自身はどのくらい費用負担が必要だったかを回答してください。※グループの場合は1人あたりに換算してお答えください。（SA）
 Q9. あなたはこの訪問のときに宿泊をしましたか。宿泊を行った方は、以下の項目ごとに宿泊日数もあわせて教えてください。（SA）

年間訪問者数／年間消費額のシェア ※訪問目的は不問

本調査

“年間訪問者数”のシェアは「宮城」「東北＋新潟」「一都三県」が高く、これら3エリアを合算すると8割超え。
“年間観光消費額”の居住地シェアも連動しており、「東北＋関東エリア」でみると8割超。

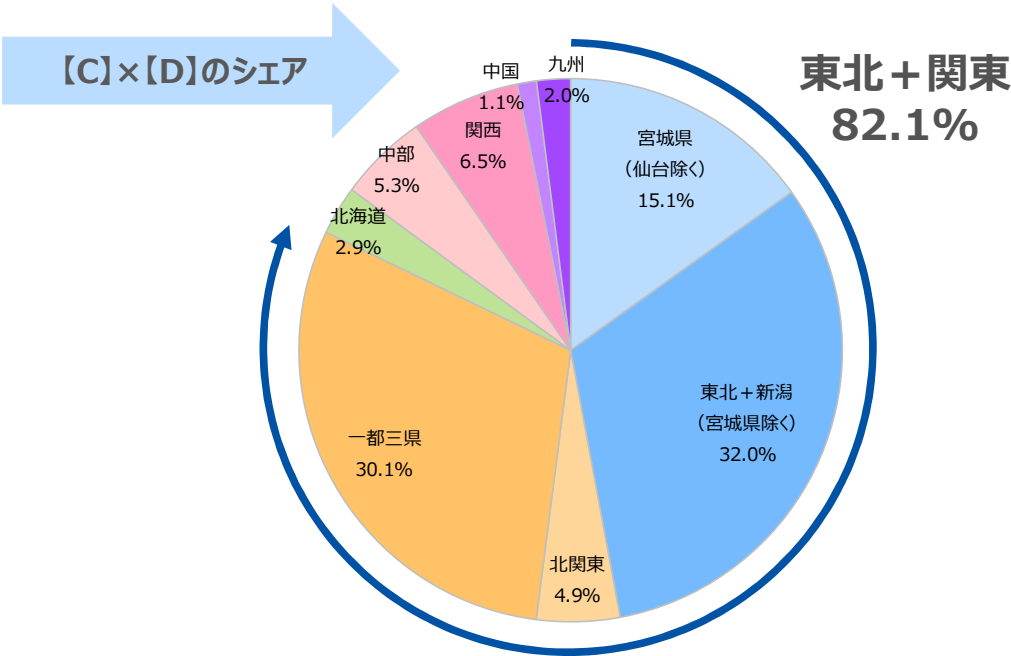
訪問回数を加味した年間訪問者数の居住地シェア

※ベース：全体

	【A】	【B】	【C】 ※【A】×【B】のシェア	【D】	
	2024年の訪問者のシェア (1人1回カウント)	2024年の1人あたり 平均訪問回数	2024年の訪問者のシェア (1人複数回カウント)	2024年の消費単価（円/人回） ※観光者以外も含む	
居住地別	宮城県（仙台除く）	9.2%	7.1回	24.5%	18,740円
	東北＋新潟（宮城県除く）	28.5%	2.9回	31.7%	30,671円
	北関東	7.3%	1.7回	4.7%	31,952円
	一都三県	35.4%	1.9回	25.4%	36,046円
	北海道	3.5%	1.6回	2.1%	42,725円
	中部	6.4%	1.8回	4.4%	36,572円
	関西	6.5%	2.0回	4.9%	40,363円
	中国	1.3%	1.8回	0.9%	37,875円
	九州	2.0%	2.0回	1.5%	41,220円
	合算	100.0%	-	100.0	-

訪問者数を元にした年間観光消費額*の居住地シェア

※ベース：全体



*年間観光消費額のシェアは、2024年の1年間において、仙台市内の観光消費額の総額がどのエリアからの訪問者によって支払われているかをシェアを示したもの
(同じ人が仙台に複数回訪問した場合には、毎回同じ金額が支払われると仮定した数値である)

Q3. あなたは2024年1月～12月の1年間に、「仙台」に何回訪問しましたか。最もあてはまるものを選択してください。※観光には、スポーツ、コンサート、ショッピングを主目的とした訪問も含みます。(SA)
Q16. 今回 (【Q6の選択内容】) の仙台 (東北地方) への訪問に関して、以下の項目ごとにあなた1人分の支出金額をそれぞれ選択してください。※あなたが支払いをしていない場合は、ご自身はどのくらい費用負担が必要だったかを回答してください。※グループの場合は1人あたりに換算してお答えください。(SA)
© Macromill, Inc.

観光経験／リピーター率の競合比較

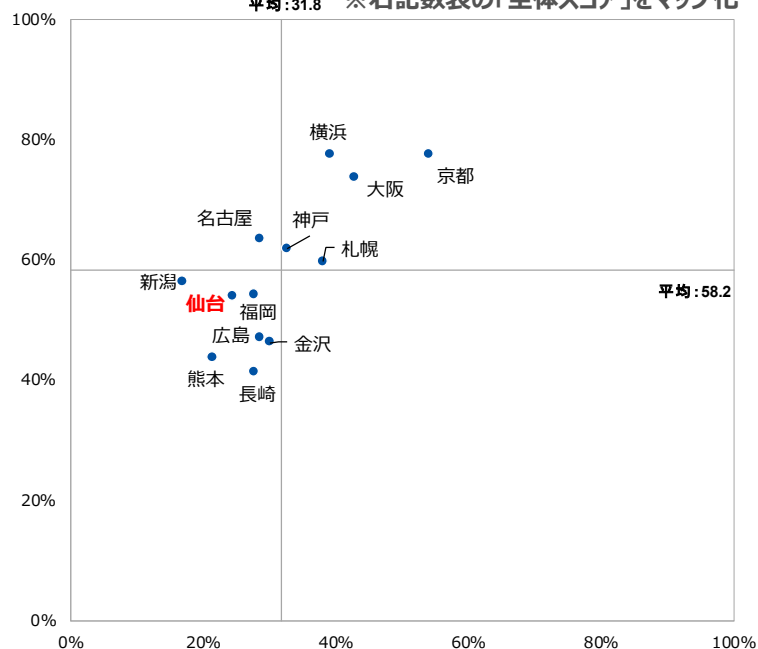
SCR調査

ポジショニングマップをみると、仙台は全体で観光経験率（横軸／間口）・リピーター率（縦軸／奥行き）の両方で競合優位ではなく伸びしろがある。居住地別では北海道・宮城・東北・北関東からは上位に入る。

ポジショニングマップ（観光経験×リピーター率）

※ベース：全体

平均：31.8 ※右記数表の「全体スコア」をマップ化



n=30以上の場合
1位
2位
3位
4位
5位
※横方向に色付け

居住地別	観光目的の過去訪問経験率 (%)											
	札幌	仙台	新潟	横浜	名古屋	金沢	京都	大阪	神戸	広島	福岡	長崎
全体	38	25	17	39	29	30	54	43	33	29	28	22
北海道	39	21	8	30	18	14	41	35	20	15	18	10
宮城県 (仙台除く)	35	27	19	31	15	18	41	32	17	15	12	7
東北+新潟 (宮城県除く)	36	49	28	39	18	23	43	31	18	15	13	10
北関東	36	35	26	44	21	27	50	34	21	21	19	16
一都三県	44	31	23	48	31	32	56	44	30	28	28	21
中部	35	16	14	42	37	40	61	51	39	28	27	18
関西	37	15	10	30	35	37	58	41	47	39	34	24
中国	33	10	6	27	24	21	54	53	51	47	40	29
九州	28	9	5	23	17	17	46	44	28	35	41	52

※小数点以下非表示

(%)

観光目的の訪問経験者に占めるリピーター比率 (%)											
札幌	仙台	新潟	横浜	名古屋	金沢	京都	大阪	神戸	広島	福岡	長崎
60	54	56	77	63	46	77	74	62	47	54	41
91	50	38	68	50	28	61	64	39	27	40	20
49	94	55	73	53	35	49	46	28	29	19	18
59	86	73	73	50	49	61	55	41	23	33	22
54	59	64	82	48	38	68	58	45	33	35	24
62	50	56	88	59	41	75	69	50	39	49	34
54	37	51	72	86	55	84	79	60	38	44	31
56	38	43	59	64	55	91	91	89	58	58	41
51	36	39	63	52	36	80	84	76	87	71	50
48	35	39	65	48	35	70	75	56	62	91	85

SQ2. 以下の地域へ訪問経験について、あなたに当てはまるものをそれぞれすべて選択してください。※観光には、スポーツ、コンサート、ショッピングを主目的とした訪問も含まれます。（MA）

SQ3. 以下の地域へ観光を目的とした訪問経験がある方にお聞きます。あなたがこれまでに、それぞれの地域に観光を目的として訪問した回数を選択してください。（SA）

© Macromill, Inc.

観光ファネル別の人口ボリューム

ファネル別の市場ボリュームから、各エリアごとの方針を整理

-宮城／東北＋新潟

: 多くが訪問経験者であり、既に観光リピーターも多い。現状は既存リピーターとの関係維持が必要と思われる。

-北関東／一都三県

: 未訪問者と観光経験者のボリュームは同程度で、観光経験者のうちリピーターは半数程度の獲得。
新規獲得・リピーター育成ともに伸びしろがあり両面から狙う必要があると思われる。（特に一都三県は人口数も多いため重要）

-北海道／中部以西

: 未訪問者と観光経験者で比べると、訪問経験がない層の比率が顕著に高く、新規開拓が必要か。

居住地×観光ファネル別でみた人口ボリューム

※ベース：全体

	20-79歳 男女人口 (人口数)	20-79歳 男女人口	▼市場全体を母数としたときの比率▼			
			仙台 訪問経験なし	仙台 訪問経験あり	仙台 観光経験あり	仙台 観光リピーター経験あり
全体	76,572,253	-	61.7%	38.3%	24.5%	13.2%
北海道	3,847,756	5.0%	3.3%	1.8%	1.1%	0.5%
宮城県（仙台市除く） ＋東北＋新潟	6,998,704	9.1%	2.2%	7.0%	4.3%	3.7%
北関東	4,919,767	6.4%	3.2%	3.2%	2.2%	1.3%
一都三県	27,328,637	35.7%	19.4%	16.3%	10.9%	5.5%
中部 ※愛知・三重・岐阜・静岡・長野	12,220,932	16.0%	11.9%	4.1%	2.6%	1.0%
関西 ※大阪・京都・奈良・兵庫	12,159,674	15.9%	12.1%	3.8%	2.3%	0.9%
中国＋九州 ※広島・岡山・福岡・熊本・長崎	9,096,784	11.9%	9.7%	2.1%	1.1%	0.4%

SQ2. 以下の地域へ訪問経験について、あなたにあてはまるものをそれぞれすべて選択してください。※観光には、スポーツ、コンサート、ショッピングを主目的とした訪問も含まれます。（MA）

SQ3. 以下の地域へ観光を目的とした訪問経験がある方にお聞きます。あなたがこれまでに、それぞれの地域に観光を目的として訪問した回数を選択してください。【仙台】（SA）

© Macromill, Inc.

APPENDIX

統計データに関する補足

✓ **旅行・観光消費動向調査（観光庁）** https://www.mlit.go.jp/kankocho/tokei_hakusyo/shohidoko.html

調査対象：日本国内居住者であり、住民基本台帳をもとに無作為に抽出した約2万6000人を対象とした調査

調査時期：4月、7月、10月、1月

調査方法：報告者に郵送で調査票を送付し、報告者が自計記入し、郵送で回収

✓ **宿泊旅行統計調査（観光庁）** https://www.mlit.go.jp/kankocho/tokei_hakusyo/shukuhakutokei.html

調査対象：統計法第27条に規定する事業所母集団データベース（総務省）を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から、標本理論に基づき抽出されたホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所など。

調査時期：毎月の報告を翌月の中旬まで

調査方法：郵送（又はオンライン）



Build your Data Culture